

こども

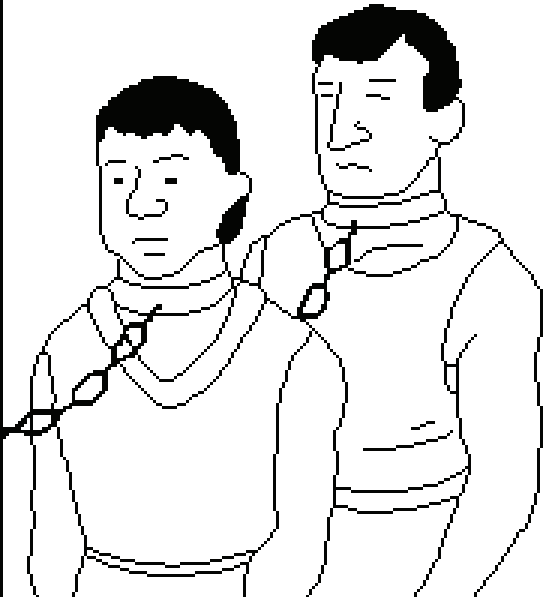
# 子供のインターネットバイブル

あんない

案内いたします

びと

とらわれ人 ダニエル



ぶん

文: Edward Hughes

え

絵: Jonathan Hay

かいさくしゃ

改作者: Mary-Anne S.

ほんやくしゃ

翻訳者: Yuko Kajiki

監修者: Dan Ellrick

しゅっぱんしゃ

出版社: Bible for Children

[www.M1914.org](http://www.M1914.org)

BFC

PO Box 3

Winnipeg, MB R3C 2G1

Canada

©2009 Bible for Children, Inc.

許可: 他人に売らない限り たにん う かぎ このお話 はなし のコピー、又はプリントは、また 許可 きよか されています。



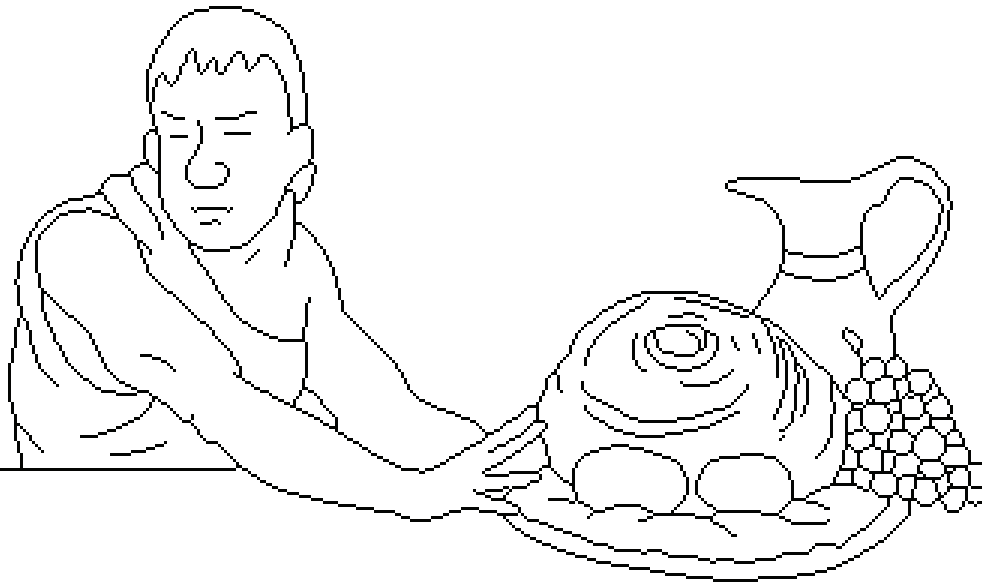
ダニエルと3人の友だちが、イスラエルに住んでいました。ある日、とても  
えらい王さまが、かれらの国へやってきました。「どこかに、かしこいわか者  
は、いないかな？」王さまは、あちらこちらと、かしこいわか者をさがし出し、  
自分の国へつれてかえってしまいました。その王さまの名まえは、ほんとうに長  
いんですよ。ネブカドネツアルですって。王さまは、とおい国バビロンというと  
ころに住んでいました。



バビロンにつれて行かれたわか者たちは、とてもだいにされました。王さま  
は、世界中のすべての国から、いちばんかしこくて、いちばんすばらしいわか者  
をえらんで、ここへつれて来たのですからね。王さまは、バビロンのことばで、  
わか者たちを教育しようと考えました。いつか、かれらが王さまの召し使いと  
なり、王国が大きくなっていくのを助けることができるようにね。



た 食べものも、おいしいものばかり。かれらは王さまが食べるのと、同じものを  
た 食べていたのです。けれども、ダニエルと友だちは、そんなごちそうは、食べた  
くありません。どうしてって、その食べものは、にせの神々にささげられたもの  
だったからです。ダニエルは、神さまにやくそくしてしていました。神さまが、  
よくないと言われることは、けっしてしないって。イスラエルの神さまは、  
「ぐう像や、にせの神々に、かかわってはいけない。」って、かれの民にめいれ  
いされていたからね。

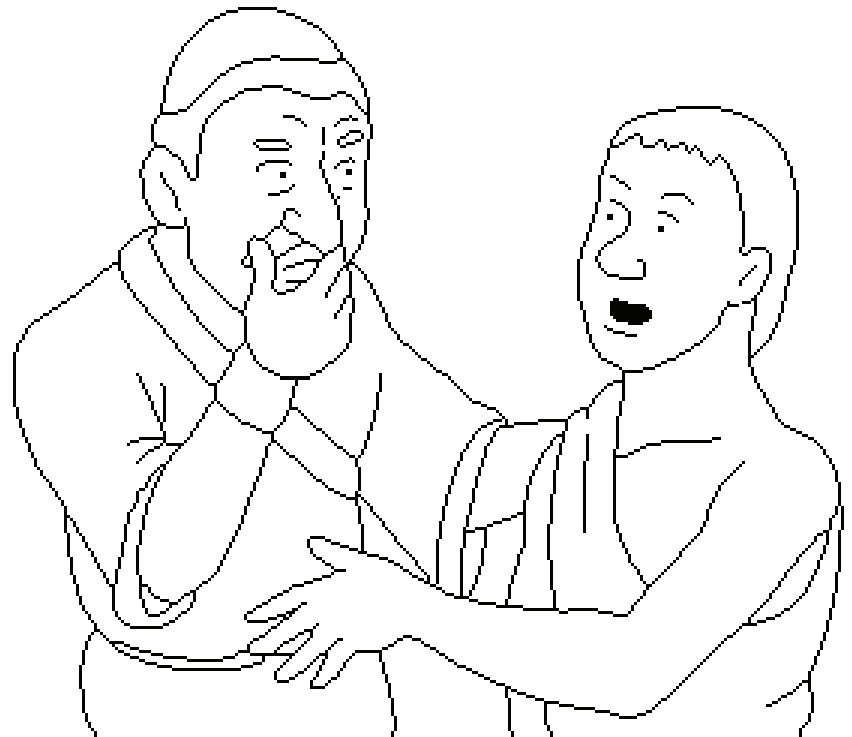


そこで、ダニエルは、かれを <sup>きょういく</sup>教育しているせわ係に、おねがいしました。

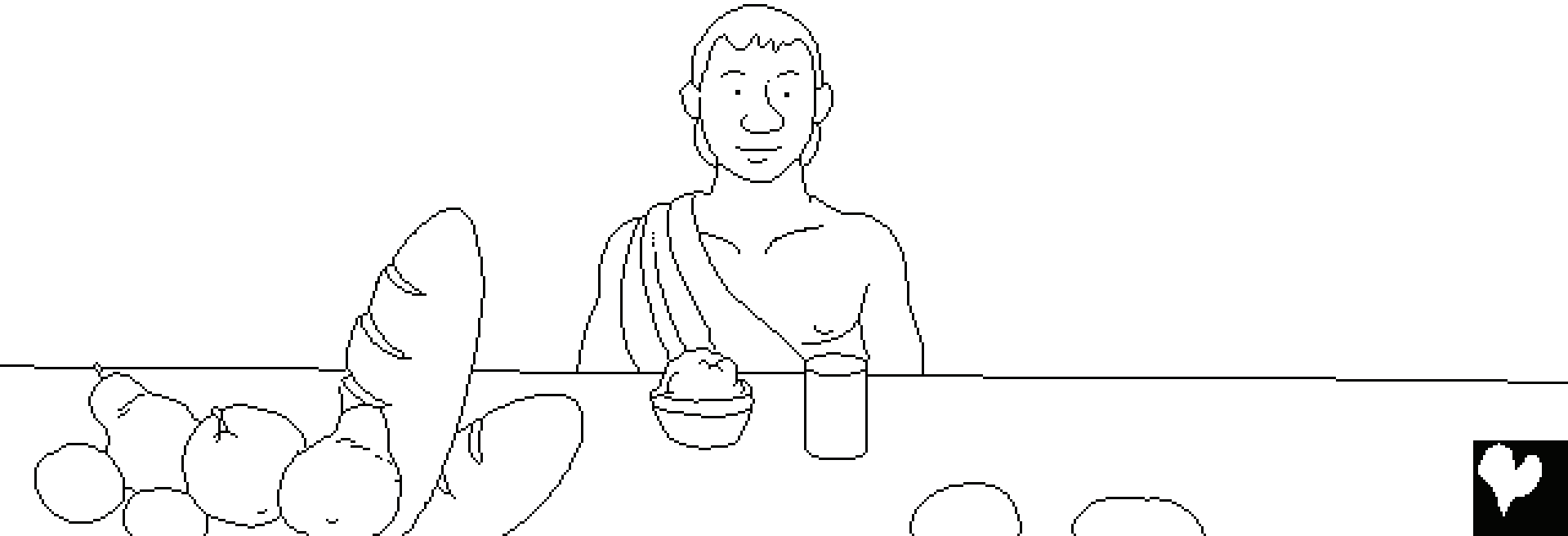
「どうか、王さまの <sup>おう</sup>食べものを <sup>た</sup>食べなくてもよいことを、<sup>た</sup>おゆるしてください。」

でも、もし王さまが <sup>おう</sup>このことを <sup>し</sup>知ったら、<sup>いか</sup>たいそう怒られることでしょう。

けれども <sup>かみ</sup>神さまは、ダニエルが、<sup>がかり</sup>せわ係に <sup>き</sup>気にいられるようにしてくださったのです。



せわ係がかりは、ダニエルのねがいきを聞いて、ダニエルとかれともの友だちの言うとおりに、  
してみることにしました。10日のあいだ、かれらは、やさいだけたみずを食べ、水  
だけのを飲むようにしました。さて10日たったとき、ダニエルたちは、どうなっ  
たでしょう。かれらは、王さまおうと同じ食べおなものたを食べているわか者ものより、もっと  
もげんきと元み氣みずそうに見えました。それで、ダニエルたちは、やさいと水せいだけで生活かつ  
していくことを、ゆるされたのです。



もの

かみ

かみ

このわか者たちは、神さまをあげ、たたえました。だから、神さまも、かれら

しゆく

かみ

を祝ふくされましたよ。神さまは、かれらに、なったことがよくわかる

ち

ちから

あた

知しき、それに力とわざも与えてくださいました。そしてダニエルには、

みらい

ちえ

未来にあるすべてのことやゆめが、よくわかる知恵をあたえられたのでした。







さて、バビロンで3年のあいだ、いろいろべんきよ  
うしたあと、わか者たちはみんな、ネブカドネツァ  
ル王のところへ、つれてこられました。王さまは、  
みんなを見て、ダニエルと3人の友だちをえらんで  
言いました。「かれらが、いちばんすばらしいわか  
者たちだ！」じつはね、王さまはそのとき、ダニエ  
ルがとてもかしこいわか者であることが、わかりま  
した。この国にいるたくさんのかしこい人たちのだ  
れよりもね。



ある夜、王さまは、とても悪いゆめを見ました。そこで、かれは、まほう使いと  
星のうらない師、そしてまじない師を呼び出し、まえに立たせてこう言いまし  
た。「わたしは、ゆめを見た。いま、わたしはそのゆめが、どんな意味なのか、  
知りたくて知りたくてたまらない。」かしこい男たちは、こたえて言いました。

「ああ、わが王さま、いつまでも生きてく  
ださいますように！どうか、  
あなたのしもべたちに、そのゆめを  
おはなしてください。そうすれば、  
わたしたちが、ゆめの意味を  
おはなしたしまししょう。」



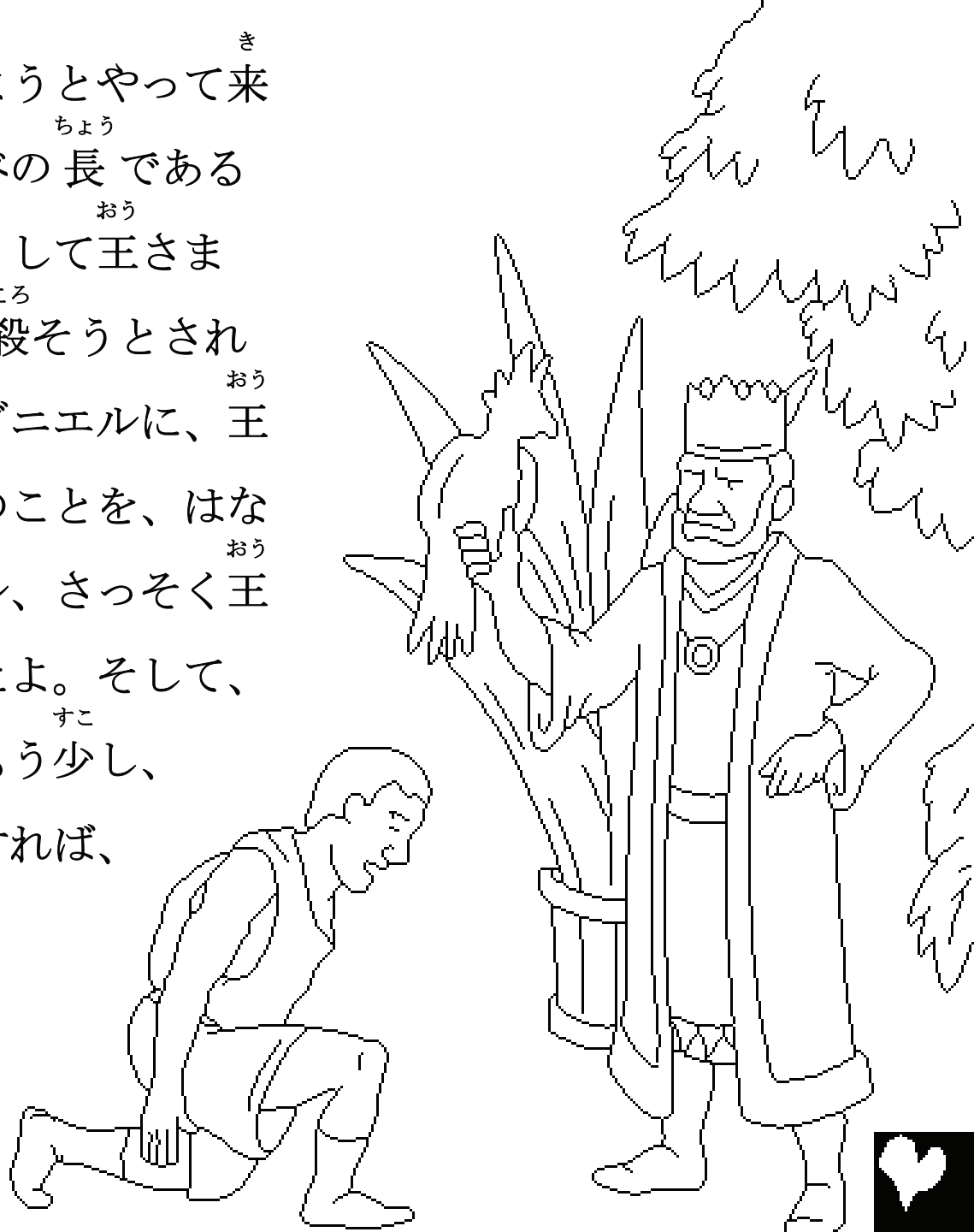
ところが、王さまはこう答えました。「いや、おまえたちが、わたしの見たゆめ  
を言いあて、その意味を言わなければならない。もし、それができなければ、  
おまえたちの体は、バラバラに切られ、家はやかかれてしま  
うだろう。しかし、もし、おまえたちが、わたしの  
ゆめと意味を言いあてれば・・・」王さまは、  
つづけて言いましたよ。「おくりものとほうび、  
それにすばらしい名よを、  
受けとることになるだろう。」



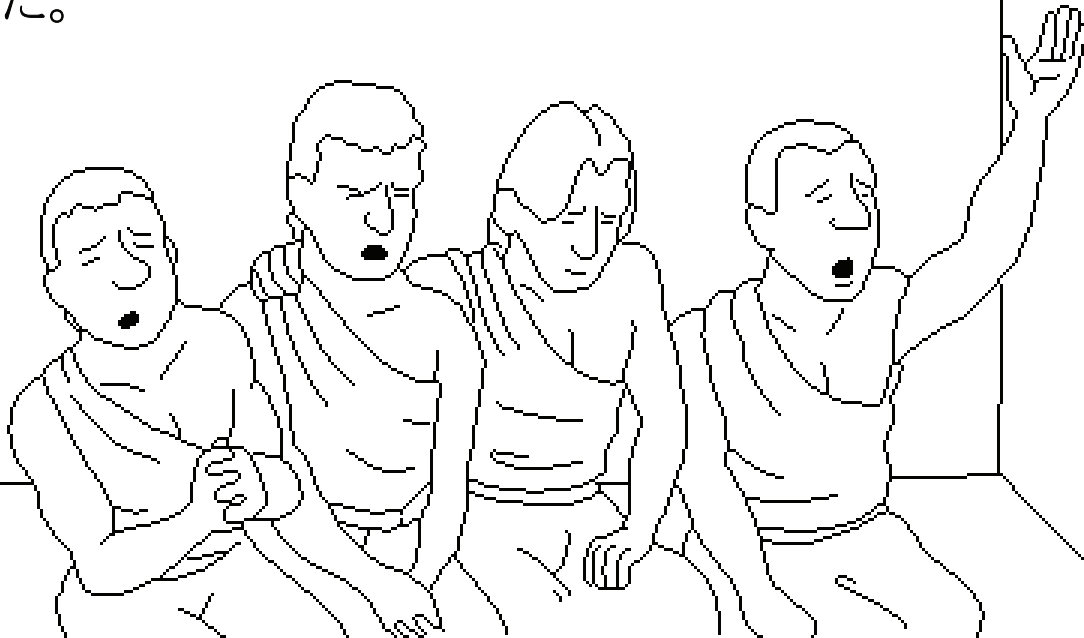
かしこい男たちは、こたえて言いました。「王さま、この世には王さまが、  
のぞんでいらっしゃることができるような人はいないのです。神さまたちだけ  
が、おできになられます。でも、その神さまたちは、この世にいらっしゃらない  
のです。」これを聞いた王さま、すっかり怒ってしまいましたよ。「バビロンに  
いるかしこい男たちを、みんな殺してしまえ！」



へいし 兵士たちが、ダニエルをとらえようとやって来  
たとき、ダニエルは、王のしもべの長である  
アルヨクにたずねました。「どうして王さま  
は、かしこい男たちみんなを、殺そうとされ  
るのか？」そこで、アルヨクはダニエルに、王  
さまのところで起こったすべてのことを、はな  
しました。それを聞いたダニエル、さっそく王  
さまに会いに行くことにしましたよ。そして、  
王さまにこうたのみました。「もう少し、  
時間をいただけませんか。そうすれば、  
わたしは王さまのゆめと、  
その意味をおはなし  
できるでしょう。」



それからダニエルは、<sup>いえ</sup>家にかえり、<sup>とも</sup>友だちのシャデ  
ラク、メシャク、そしてアベデネゴに、<sup>なに</sup>何がおこっ  
たのか、すべてはなしました。じつはね、そのとき  
ダニエルは、<sup>おう</sup>王さまがどんなゆめを見たのか、ぜん  
ぜんわからなかったのですよ。でも、ダニエルは、  
なんでもわかっていらっしゃるだれかを、<sup>し</sup>知ってい  
ますね。そのだれかって？<sup>かみ</sup>そう、神さまです。ダニ  
エルと<sup>とも</sup>友だちは、<sup>かみ</sup>さっそく神さまに  
いのりました。



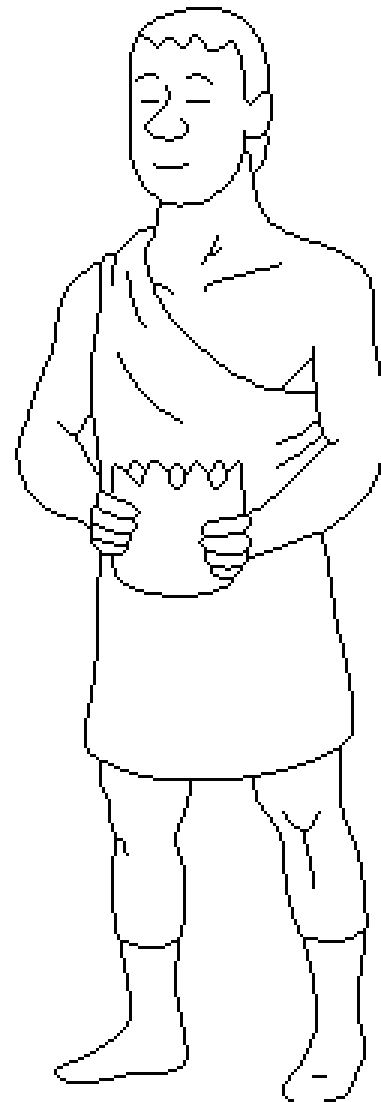
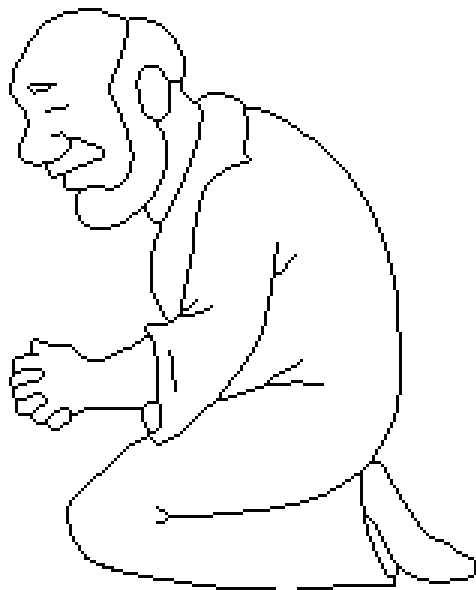
かみ  
神さまは、ダニエルに、ゆめの意味をおしえてくださいましたよ。ダニエル  
てん かみ  
は、天の神さまをたたえて、こう言いました。「いつまでも、いつまでも神さま  
な  
のみ名をたたえよう！ちえと力は、神のもの。」それからダニエルは、いそい  
ちから かみ  
で王さまのところに行きました。「王さま、天におられる神さまが、王さまのゆ  
おう い  
めのひみつを、おしえてくださいました。」こう言って、  
おう てん かみ  
ダニエルは、王さまがどんなゆめをみたか、そしてそれ  
おう  
は、どんな意味なのかを  
いみ  
はなしました。



ネブカドネツアル王は、自分が見たゆめと、その意味をきいたとき、ダニエルの  
まえであたまを下げ、ひれふしながらこう言いましたよ。「まことに、あなたの  
神さまは、神々の中の神さま、王たちの中の主です。

ひみつを明らかにされるお方です。なぜなら、あなたはわたしのゆめが何であるか、はなすことができる  
のですから。」こうして、王さまはダニエルを、

高い位につけ、たくさんのすばらしいおくりものを、  
与えました。王さまは、かれをバビロンのかしこい  
人々の中でも、いちばんえらい  
長官にしたのですよ。





びと  
とらわれ人 ダニエル

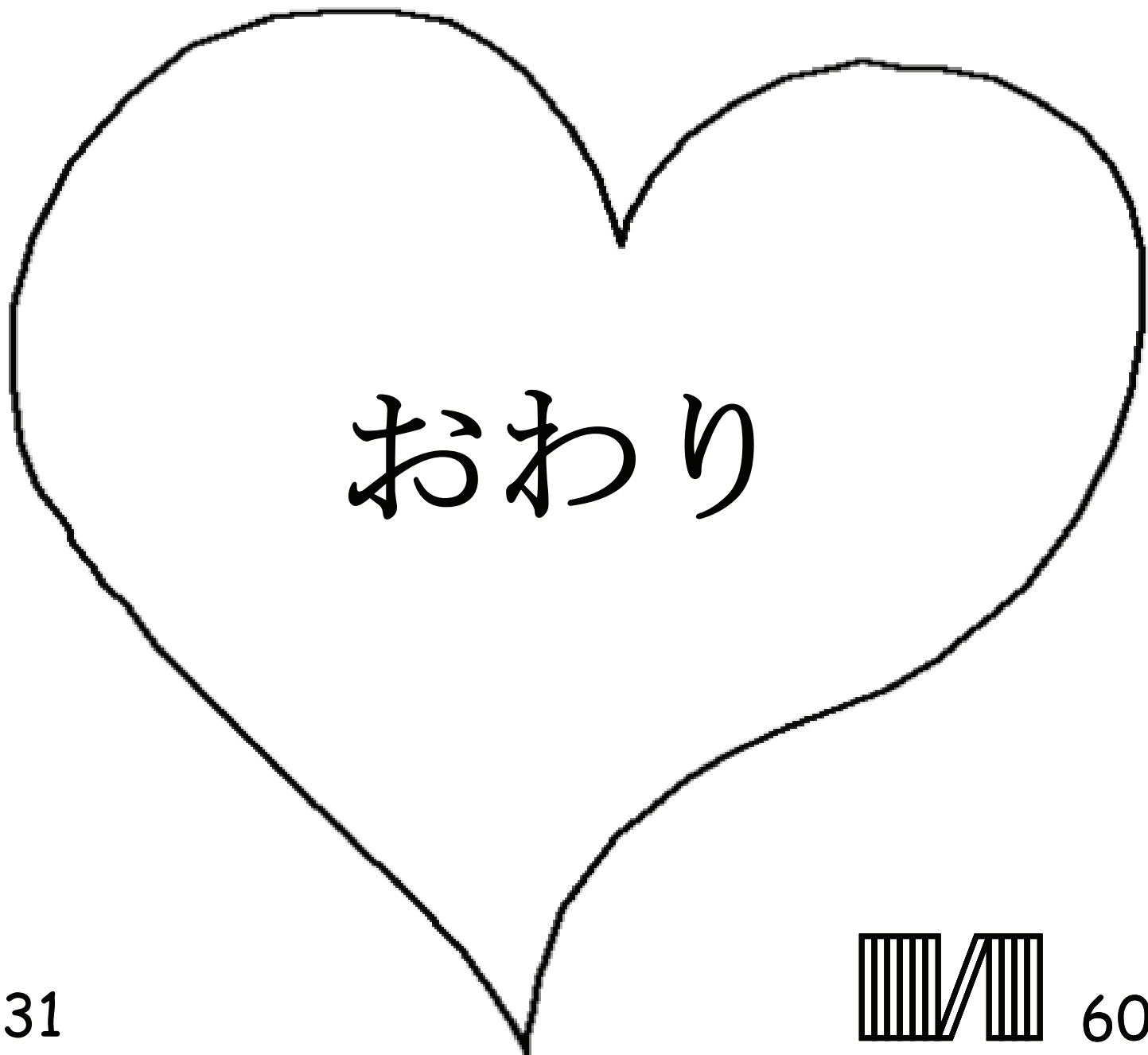
かみ み せいしょ しる  
神さまの御ことば、聖書に記されているおはなしです。

き しょう しょう  
ダニエル記 1 章 - 2 章

み ひら ひかり あた  
あなたの御ことばが開かれると、光が与えられます。

しへん  
詩篇 119:130





おわり



せいしょものがたり わたし かみ  
この聖書物語は、私たちをつくってくださったすばらしい神さまについて、  
おはなししています。神さまは、あなたが、神さまのことをしてほしいと、  
おも  
思っていらっしゃるのです。

かみ わたし かみ  
神さまは、私たちが、よくないことをしてしまったことを、していらっしゃいます。それを、神さま  
は、罪とよばれています。その罪のむくいは、死です。

かみ あい ひとり こ  
けれども、神さまは、あなたをとも愛していらっしゃいますので、ただ一人のみ子イエスさまを、こ  
よ おく つみ つみ し  
の世に送ってくださいました。そしてあなたの罪のために、十字架上で亡くなられたのです。けれども  
それから、イエスさまはよみがえられ、天国のいえへ、もどられたのですね。もし、あなたがイエスさ  
まを信じ、ゆるしてくださいとおねがいするなら、イエスさまは、ゆるしてくださいます！イエスさま  
いま ところ き なか す  
は、今、あなたの所へ来て、あなたのところの中に住んでくださいます。そして、いつまでもいエスさ  
まといっしょにいることができますよ。

もし、あなたが、これがほんとうだと信じるなら、神さまにこう言ってくださいます。  
あい かみ わたし かみ しん ひと わたし つみ な  
愛する神さま、私は、あなたが神さまと信じます。あなたは人となり、私たちの罪のために亡くなっ  
てくださいます。そして、よみがえって、いまいまま生きて  
いらっしゃいます。どうか、私のところの中に来て、罪をゆるしてください。それで、私は今、あた  
らしい命をいただけます。そして、いつか、あなたの所へ行き、いつまでもあなたといっしょにいる  
ことができるのです。あなたにしたがえますよう、あなたの子としていることができますよう、たす  
けてくださいます。アーメン

せいしょ かみ ふくいんしょ  
まいにち、聖書をよみ、神さまとおはなししましょう！ ヨハネによる福音書3：16

